



## 岡山理科大学生が道の駅「すずなり」で インターンシップ

○国土交通省では、「道の駅」を観光振興や地域振興を学ぶ学生の課外活動やインターンシップの場として活用しています。

○この取り組みは、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するとともに、現場での就労体験を通して実際的な知識や技術を学ぶことを目的としています。

### 【実習する学生】

岡山理科大学 1名

### 【主な実習内容】

- ①「道の駅」利用者へのアンケート調査
- ②客層別地域特産品販売方法の提案
- ③観光窓口補助業務
- ④物産販売所補助業務

### 【実習期間】

平成28年8月16日(火)～23日(火) 8日間

#### ◆地域特産品



珠洲の塩



切り出し七輪、海産物の他  
特産品の数々

#### ◆道の駅「すずなり」



### 【問い合わせ先】

#### ●実施内容に関する問合せ

・NPO法人能登すずなり(珠洲市観光協会) 統括マネージャー しのかわ きょうこ 篠川 杏子

すずし ののえまち

珠洲市野々江町シの部15番地 TEL:0768-82-4688

#### ●制度に関する問合せ

・金沢河川国道事務所 建設専門官 はたなか こうじ 畠中 拓治

かなざわしさいねん

金沢市西念4丁目23番5号

TEL:076-264-9912(調査第二課直通)

FAX:076-233-9641

平成26年11月21日

道路局  
観光庁

## 「道の駅」における大学との連携・交流を本格実施します

「道の駅」には地域の観光資源や魅力を語る人材が集まっており、地域の課題を解決する拠点となっています。また、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するためには、現場での就労体験を通して、実際的な知識や技術を学ぶことが重要です。

このため、「道の駅」を、観光振興や地域振興を学ぶ学生の課外活動やインターンシップの場として本格活用することとしました。

これまで、「道の駅」において、地元大学等と個別に連携を行う事例はありましたが、全国の「道の駅」を対象に実施することにより、都市部の学生が地方部の「道の駅」で交流するなど、新たな価値の創造が期待されます。（別紙1参照）

### <実施内容例>

- ・観光資源調査、地域活性化プログラムの企画・立案
- ・HP や SNS などによる情報発信の提案・実施
- ・地場産品を活用したオリジナル弁当などの商品開発

### <今後のスケジュール>

平成27年度からの受入開始に向け、派遣を希望する大学等と、個別調整を進める予定。

### <問い合わせ先>

道路局 企画課

課長補佐 小島 昌希（内線 37532）

代表：03-5253-8111

直通：03-5253-8485 FAX：03-5253-1618

観光庁 観光産業課

課長補佐 堀江 直宏（内線 27302）

代表：03-5253-8111

直通：03-5253-8329 FAX：03-5253-1585

- 「道の駅」における大学との連携、受入体制を整備し、若者の就労体験や交流の場として活用。
- 地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ地域外の若者が交流することで、新たな価値の創造を図る。

## 実施イメージ



### <実施内容例>

- ・ 観光資源調査、地域活性化プログラムの企画・立案
- ・ HPやSNSなどによる情報発信
- ・ 地場産品を活用したオリジナル弁当などの商品開発

※ 運営等の就労体験を通じて実施するものと、大学の授業の中で実施するものを想定

## これまでの実施例

### ○ イベントの企画実施や、商品販売など様々な場面での交流体験

#### 「霧の森」(愛媛県四国中央市)

- ・ 地元イベントの企画立案、実施補助のほか、道の駅内で製造されている地元名産品の製造・販売の補助を実施。
- ・ H25年度は10名受け入れ、うち7名は関西圏の大学から参加

- ・ H15からこれまで約110名が実施
- ・ そのうち2名が「道の駅」へ就職



大学生が企画したイベント



地元名産品「霧の森大福」

### ○ 地場産品を活用した「道の駅」の商品開発

#### 京都府亀岡市、南丹市、京丹波町の道の駅

- ・ 京都精華大学の大学生が、道の駅で販売するスイーツパッケージをデザイン



包装デザイン打合せ

#### 「かなん」(大阪府河南町)

- ・ 道の駅と大阪府立大学の大学生のコラボによりオリジナル弁当を開発



道の駅弁当「かなん冬の恵み」